

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成28年度第2回入間市環境審議会
開 催 日 時	平成28年12月26日(月) 午後2時00分 開会・午後4時05分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 B棟 5階 全員協議会室
議 長 氏 名	木内 勝司
出席委員(者)氏名	木内 勝司、黒瀧 孝秀、相葉 学、伊藤 雅道、犬塚 裕雅、 岡野 亘、加治 隆、川名 千鶴子、斎藤 令子、篠塚 玲子、 永井 健一、中村 巖、三木 康行、森谷 秀一
欠席委員(者)氏名	結城 隆
説明者の職氏名	環境経済部長 山崎 利明、環境課長 田口 雅也 環境課主幹 竹廣 由美
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 平成27年度における環境の保全及び創造に関する施策の進 捗状況について(公開) (2) その他(公開) 4 閉会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	・環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況について(意見) 【案】 ・平成28年度第1回入間市環境審議会議事録 ・環境市民講座チラシ
事務局職員職氏名	環境経済部長 山崎 利明、環境課長 田口 雅也 環境課主幹 竹廣 由美、環境課副主幹 中村 裕美子
会議録作成方法	要点筆記

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

1 田口課長の進行で開会

2 会長あいさつ

木内会長あいさつ

3 議題

木内会長が議長となり、議事を進行

(1) 平成27年度における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況について

事務局及び中間見直しワーキングメンバーにより作成した意見書(案)について、
事務局より説明後、意見交換し意見書(案)を修正

(2) その他

事務局より

環境市民講座のお知らせ

4 閉会 黒瀧副会長

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
<p>司会 (田口課長)</p> <p>議長 (木内会長)</p>	<p>(委員より発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p>入間市環境審議会条例第6条第1項の規定により会長に議長に就任していただき、会議に入らせていただきます。会長よろしく願いいたします。</p> <p>それではしばらくの間、議長を務めさせていただきます。ただいまの出席委員は14名です。定足数に達していますので、これより平成28年度第2回環境審議会を開会します。欠席の届出は結城委員から出ております。</p> <p>本日の会議録については要点筆記とし、事務局が作成します。また、会議録の署名は、黒瀧副会長を指名します。</p> <p>本日の審議会は、お手元に配布してあります次第により進めたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>はじめに議題(1)平成27年度における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況について審議します。</p> <p>前回の審議会において、皆様から頂いたご意見を基に、意見書の原案を作成しました。原案につきましては、事務局の素案に対して、黒瀧副会長、伊藤委員、犬塚委員、川名委員、永井委員の5名及び私からの意見を入れて「案」として作成したものです。本日は、これを基にご審議いただき、意見書としてまとめ、提出したいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>竹廣主幹</p>	<p>はじめに、前回の審議会でご質問のあったところについて、説明いたします。</p> <p>会議録の11ページをお開きください。1行目の犬塚委員から「絶滅危惧種が確認されたとありますが、何がどこで見つかり、今はどうなっているのでしょうか」というご質問がありました。博物館に確認をしたとこ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ろ、ヒロハノアマナというユリ科の多年草を、入間市駅北口の区画整理地内で発見、博物館に移植したということでした。そして、現在も大切に育てているということです。名札は出さずに管理しているそうです。</p> <p>次に、同じページの中ほどに、斉藤委員から「進行管理指標No.4 2 歩道への浸透性舗装の推進について、平成22年度に2路線とありますが、路線名がわかりません」というご質問がありました。担当の都市計画課に確認したところ、当時の狭山台土地区画整理事務所の街路築造工事が該当し、路線名は「区34号」と「区35号」ということでした。大きな道路ではないので、名称のない路線です。こちらの指標については、既に目標を達成しており、細かい路線名の記載は不要と考えますので、次回からは備考欄を削除したいと思います。</p> <p>では、意見書【案】について、読み上げさせていただきます。</p> <p>(意見書【案】読み上げ)</p> <p>それでは、ご意見がありましたらお願いします。</p> <p>3点の調査研究が必要ということですが、1点目、2点目は生物にやさしい農業を推進しましょう、調査のデータの活用をしていないので活用しましょうという内容になっています。3点目の「企業の環境への取り組み」では、企業が環境への取り組みをしていないように思われます。企業は環境に取り組んでいるので、それを市民にアピールしようということなので、直したほうがよいかと思います。</p> <p>3点目の工業会は入間市工業会に訂正をお願いします。</p> <p>指摘のありました3点目の「入間市の企業の環境への取り組み」を、市民にアピールする表現にしたかどうかということでしたが、いかがでしょうか。</p> <p>「入間市の企業の環境への取り組みの周知」でよいのではないのでしょうか。</p> <p>「市民への」を入れたらどうでしょうか。</p> <p>この意見については、前回の審議会で私が言った内容です。入間市内の</p>
議長	
斉藤委員	
永井委員	
議長	
川名委員	
議長	
川名委員	

発 言 者	発 言 内 容
	<p>企業が熱心に環境へ取り組んでいるので、入間市民に知らせるべきだということ。企業は入間市の企業であることがわかる表現がよいと思います。</p>
議長	<p>入間市の企業を市内企業にしてはどうでしょうか。</p>
犬塚委員	<p>「市内企業の環境に係る取り組みの周知」ではいかがでしょうか。「市民への」は無くてもよいかと思えます。</p>
議長	<p>企業では「環境への取り組み」のことは、どのように呼んでいますか。</p>
黒瀧副会長	<p>そのまま「環境への取り組み」です。</p>
議長	<p>他に意見はありませんか、</p>
加治委員	<p>3点目の内容はこのとおりだと思いますが、具体的なことを例示できないでしょうか。例えば、50年前に立地した企業がその当時から環境配慮していることを例示すると周知することの重要性がわかるのではないかと思います。当時、工場に垣根を作ったような事例があれば、40年、50年で環境に大きな影響を与えていますので、そのような事例的なものを入れていただきたいと思えます。</p>
議長	<p>工場緑化についての例がでましたが、工業団地はいつ頃できたのでしょうか。</p>
永井委員	<p>武蔵工業団地は、昭和43年頃にできました。</p>
議長	<p>工場緑化については、工場を作れば緑化も義務でなければいけないのですが、どこの工場で行っているのかということで見にいけるようなところはあるのでしょうか。工場緑化以外の例でもよいかと思えます。</p>
永井委員	<p>狭山台工業団地は、まだ植えたばかりですので、武蔵工業団地のほうであるでしょうか。</p> <p>環境フェアでの展示は、街路樹の関係はありませんでしたが、木の関係では、フィリピンにマングローブを植えている企業があります。工業会の中で、肥料を作っている企業、レタスの水耕栽培をしている企業などの展示がありました。それぞれの企業の作っている肥料、種、パッケージを企業からもらって、栽培セットになるという企画がありました。それぞれは</p>

発 言 者	発 言 内 容
川名委員	<p>別の仕事をしているが合わせて1つのものになるという取り組みがありました。</p> <p>今回は、市長に出す意見書ですので、そのような例示は必要ないのかと思います。例を出すのであれば、意見書ではなく別のものを用意したほうがよいかと思います。</p>
犬塚委員	<p>議論を聞きながら考えたのですが、3点目の出だしはものづくり関係、商業、サービスも含めた企業のことかと思っています。次の段落では、環境フェアでの入間市工業会の取り組みについて市民に知ってもらう取り組みができたと書かれています。企業の取り組みを市民に知ってもらうことと続きますが、工業会のことと限定している文章に読めるので、改行し、「市内企業の様々な取り組みを市民に知ってもらうこと」とすると最初の文章と整合性が取れるのではないかと思います。</p>
議長	<p>第5回環境フェアの前に「例えば」と入れるとよいかと思います。</p> <p>それでは、1点目に戻り確認してみたいと思います。</p> <p>エコファーマーの認定者数と限定していますが、他にはないのでしょうか。農業関係ですが、三木委員いかがでしょうか。</p>
三木委員	<p>これだけではないかとは思いますが。</p>
議長	<p>「伸び悩んでいることから」を「伸び悩んでいることなど」にしたらどうでしょうか。</p> <p>用途に適した堆肥の調査研究についてですが、農家の要望するような堆肥を作ることによって使ってもらえるのではないかということです。中村委員いかがでしょうか。里山の落ち葉を堆肥にすれば喜ぶ方は多くいます。そのようなシェアをすれば、生物にやさしい農業になるのではないのでしょうか。</p>
中村委員	<p>そのとおりだと思いますが、それを行うには1つの団体だけでは難しいので、加治丘陵で言えば山林管理のボランティア団体が集まって行わないと無理かと思っています。</p>
議長	<p>それでは、意見書の1点目は、よろしいでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
加治委員	<p>(意見なし)</p> <p>2点目はいかがでしょうか。</p> <p>「牛沢カタクリ自生地」とありますが、「牛沢のカタクリ自生地」と「の」が入るのではないのでしょうか。</p>
議長	<p>後ほど、事務局でみどりの課に確認をお願いします。</p> <p>※みどりの課では、「牛沢カタクリ自生地」で統一している。</p> <p>上の2つの段落は、現在やっていることについてです。調査をしているが、結果が活用できていないので、活用してくださいということです。文章の順番を入れ替えてはいかがでしょうか。</p>
伊藤委員	<p>「入間市では、加治丘陵や狭山丘陵」という言葉は不要なのではないでしょうか。自然環境モニタリングが2回出てくるのも直したほうがよいと思います。</p>
犬塚委員	<p>自然環境モニタリングの対象になっているのは、加治丘陵、狭山丘陵、谷田の泉、牛沢カタクリ自生地が対象となっているのでしょうか。</p> <p>報告書の16ページ「⑩河川・雑木林の生物を市民参加でモニタリングする仕組みをつくります。」が起点となった議論かと思います。対象領域、整合性を確認したいのです。</p>
黒瀧委員	<p>報告書の45ページ、66番に、平成26年度に鳥類分布調査、加治丘陵植生調査は毎年場所を変えて実施とあります。</p>
犬塚委員	<p>市で取り組んでいる施策の流れと、モニタリング調査が平行していて交わっていない、関連していないので関連付けましょうという内容にまとめていただきたいと思います。</p>
川名委員	<p>細かい文言を修正しすぎて、焦点がぼやけてしまっています。読んだ方に伝わりやすい文章にしたほうがよいかと思います。</p>
議長	<p>市長に提出する文章ですので、職員の方が理解できればよいかと思います。竹廣主幹いかがですか。われわれの思いが伝わっていますか。</p>
竹廣主幹	<p>各計画に反映させてくださいということだと理解できます。</p>
議長	<p>全体を修正し同じレベルになってきたかと思いますので見直しをしま</p>

発 言 者	発 言 内 容
森谷委員	<p>す。3番目からみていきます。</p> <p>最後の行ですが、市民への企業の環境活動を周知させる手段は必ずしも発表会をやることではないので、取り組みを周知することについて調査検討でよいかと思えます。</p>
犬塚委員	<p>取り組みの発表の場を市が支援することですが、実際に環境フェアで市民の目に触れ、話して、実感できたという手ごたえを感じています。市の取り組みとして、環境フェアに企業に参加してもらい市民との接点を増やす後押しをしましょうということだと理解しています。</p>
永井委員	<p>私も、実際に環境フェアで市民に説明をして、直接の触れ合う機会が大切であることを実感いたしました。</p>
篠塚委員 議長	<p>環境フェアのアピールの方法も支援していただきたいと思えます。</p> <p>企業の取り組みの周知は幅広いほうが良いという意見と、市民との接する機会を支援するという意見です。</p> <p>続いて、2番に移ります。</p>
加治委員	<p>「絶滅危惧種の保護・育成」という表現がなくなっていますので加えていただきたいと思えます。</p>
伊藤委員 議長	<p>「自然環境の保全」と加えたほうがよいと思えます。</p> <p>他にありませんか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>他になければ、1番に移ります。</p>
岡野委員	<p>農政課やクリーンセンターに跨る内容ですが、記載がなく調査研究が望まれますと言っても、どこがやるのかということにならないでしょうか。</p>
犬塚委員 山崎部長	<p>記載していなくても、関連各課が対応するのが通常かと思えます。</p> <p>これは審議会から市長への意見です。市長がどこかの課を指定して研究するのか、あるいはプロジェクトチームなどをつくるのか、市長の裁量の範囲だと思いますので、調査研究という意見にいただき、その後は行政の判断で決めさせていただきたいと思えます。</p>
議長	<p>それでは、事務局で印刷して確認をしたいと思えます。その間、休憩と</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>します。</p> <p>(休憩)</p> <p>修正したものの印刷ができましたので、皆さんご確認ください。</p> <p>(確認)</p> <p>それでは、最終調整をいたしますので、ご意見がありましたらお願いいたします。</p>
相葉委員	<p>1番の生物にやさしい農業の推進というタイトルですが、「生物にやさしい」という表現に違和感がありますが、環境の用語で定着しているのでしょうか。「環境にやさしい」の方がわかりやすいかと思います。</p>
議長	<p>私は、環境を専門にしていますが、違和感はありません。「環境にやさしい」とすると、環境は広い意味がありますので、何を表したいのかがわかりにくいかと思います。「生物にやさしい」というのは、生物と共存している農業ということで、環境だともっと難しくなってしまうかと思います。伊藤委員いかがでしょうか。</p>
伊藤委員	<p>違和感はないかと思います。生物多様性の観点などだとすると、もっと難しくなってしまうかと思います。</p>
議長	<p>大学の先生が教えている内容でも使われているかと思います。市民の方にとっては、聴きなれないかもしれません。「生物にやさしい」の方が趣旨に合っているかと思います。</p>
森谷委員	<p>他にご意見ありますか。</p> <p>2番と3番の最後が、「調査検討」となっています。1番は「調査研究」となっています。合わせたほうがよいのではないのでしょうか。</p>
山崎部長	<p>前段で、「次の3点について調査研究」となっていますので、全て調査研究としてはいかがでしょうか。</p>
議長	<p>事務局から、統一したほうがよいとのご意見ですので、「調査研究」で統一します。</p> <p>他にありませんか。</p> <p>(意見なし)</p>

発 言 者	発 言 内 容
竹廣主幹 議長 田口課長 黒瀧副会長	<p>他にないようでしたら、平成27年度における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況に対する意見書については以上の内容とさせていただきます。</p> <p>意見書については黒瀧副会長と一緒に、後日、市長にお渡ししたいと思います。なお、お渡しする日程調整については事務局に一任するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>次に議題の(2)その他ですが、事務局から何かありますか。</p> <p>(環境市民講座のお知らせ)</p> <p>他になければ、これで議事を終了させていただきます。また、議長の座をおろさせていただきます。皆様方のご協力ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは閉会のあいさつを黒瀧副会長からお願いいたします。</p> <p>(閉会の挨拶)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

年 月 日

平成29年3月2日

議 長 の 署 名

木内 勝司

議長が指名した者の署名

黒瀧 孝彦